



北九州 PCB 廃棄物処理事業だより (No.6)

第1期施設解体撤去特集 令和元年8月号

第1期施設は平成31年3月末で、処理対象物の変圧器・コンデンサーの処理が完了したことから、令和元年度より解体撤去のステージに入りました。

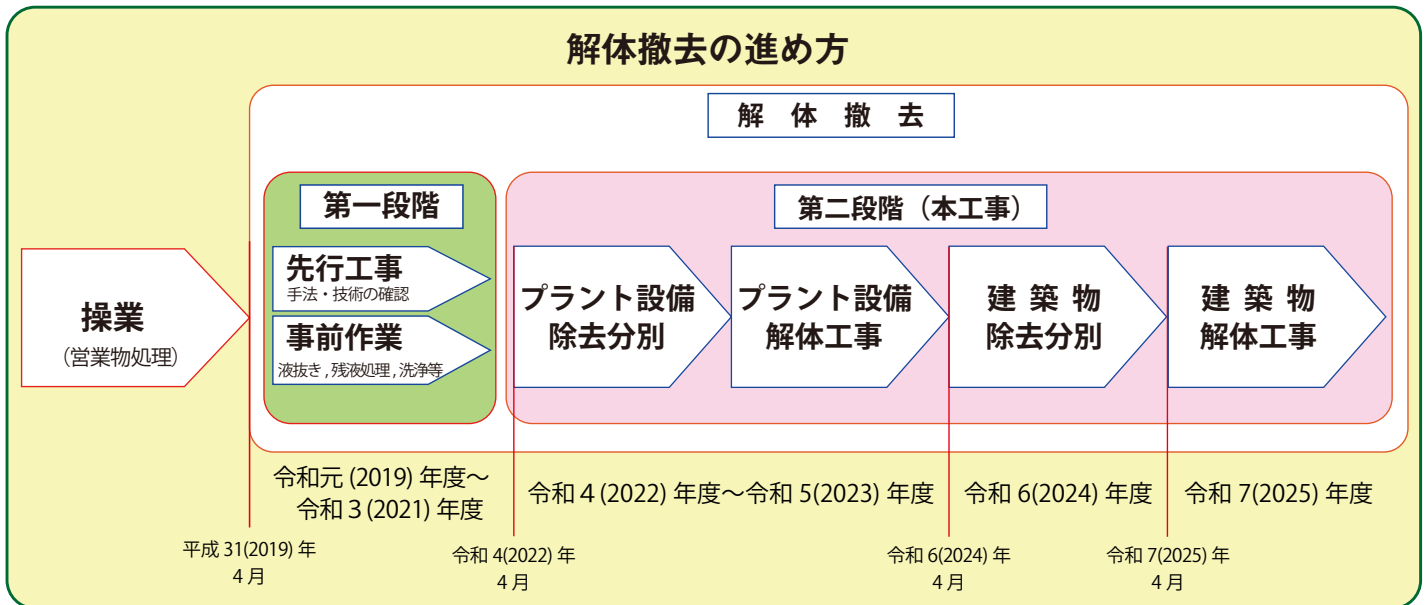
第1期施設は、平成16年12月より操業を開始し、平成31年3月末で、変圧器・コンデンサーの計画的処理完了期限を迎え、予定通り処理が完了しました。

この15年間で、約12,000事業所から搬入された、「変圧器2,801台」、「コンデンサー58,960台」を処理しました。

令和に入った今年度から、第1期施設は解体撤去のステージに入りました。

◆ 解体撤去の概要

施設の解体撤去は、操業時と同様に周辺環境に配慮し、従業員の安全衛生管理を徹底して行い施設内残留PCBの無害化処理を進めてまいります。



施設の解体撤去では、解体工事に先立ち、設備に付着した高濃度PCB等を除去分別(クリーニング)することにより、PCBの除去を行い解体工事を実施することを基本とします。

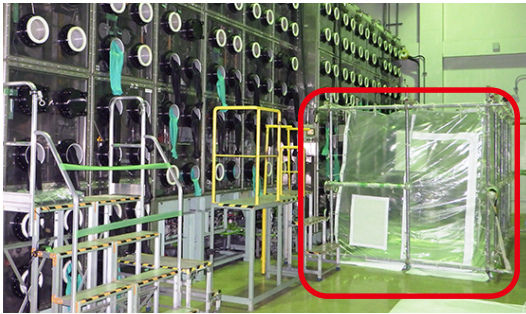
また、解体撤去を行うに当たっては、以下の点に留意しながら進めてまいります。

- ・本工事に先立ち、先行工事により各種手法・技術の安全性、有効性、作業性等の確認をすると共に、事前作業として液抜き、残液処理、洗浄等を実施します。
- ・プラント設備の除去分別、解体工事、建築物の除去分別、解体工事の順に解体撤去を行います。
- ・解体撤去工事が周辺の環境に影響を及ぼしていないことを確認するために排気等のモニタリング、環境モニタリングを実施します。

■ 先行工事～無事故でグローブボックス内機器撤去完了～

令和元年6月17日より、グローブボックス^{※1}内の機器の撤去に着手し、無事に完了しました。

当該工事ではグリーンハウス^{※2}を設置して、グローブボックス内には化学防護服、空気呼吸器等を装着して入り、安全を最優先して作業を行いました。



グリーンハウス設置

グローブボックスへの出入り口に、外部にPCBが漏洩しないようにグリーンハウスを設置し、グリーンハウスを通して出入りします。 ※左写真の赤枠内がグリーンハウスです。

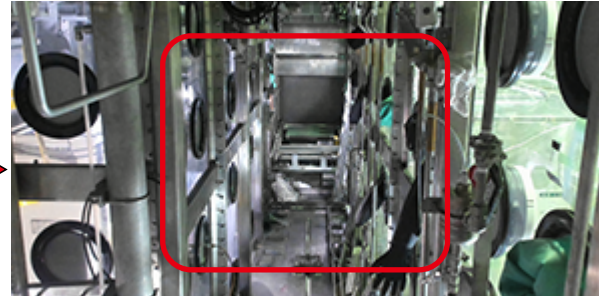
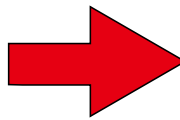
化学防護服 + 空気呼吸器での作業

作業員の安全を確保するため、化学防護服、手袋、長靴を装備し、空気呼吸器も着用しています。

また、汚染防止のため、退出時はグリーンハウスで着替え、脱衣した化学防護服は専用容器に保管し、無害化处理します。



内部機器撤去前



内部機器撤去後

※1 グローブボックスとは

PCBが外部に漏れないように密閉された空間で、作業員はグローブを介してパネル越しに作業を行うことにより、PCBに直接接触することなく安全に作業することができる設備です。

※2 グリーンハウスとは

グローブボックス内に入出入りする際に、内部の気圧を外部より低くすることにより、PCBが漏れないようにした設備です。

■ 事業所あれこれ紹介 ～情報公開ルーム・解体撤去情報コーナー～

解体撤去のステージに入り、情報公開ルームに解体撤去情報公開コーナーを設置し、随時情報を公開致します。

また、情報公開ルームに設置したモニターにより工事の様子をご覧いただけます。



解体撤去情報コーナー



事業所内モニター

【連絡先】

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO) 北九州 PCB 処理事業所

【所在地】 〒808-0021 福岡県北九州市若松区響町1丁目62-24

【連絡先】 ☎093-752-1113 [HP] <https://www.jesconet.co.jp/facility/kitakyushu/>

アザラシの「ぴーちゃん」

